

こくたか 連携だより

2019年発行
第148号
5月号

内分泌・代謝内科よりお知らせ 2~3

糖尿病教育入院パスが出来ました。
2019年度「高松糖友会」入会のご案内
定期勉強会と茶話会のお知らせ

市民健康医学講座

腸内環境と栄養 4

栄養士 塩澤 由起子

栄養だより	5
臨床検査科だより	6
診療放射線科だより	7
ほっとさろん・たかさき	8
がん地域連携クリニカルパス	9
医師紹介コーナー	10
地域医療連携登録医のご紹介	11
セカンドオピニオンのご案内	12~13
外来診療担当表	14~15
院長室だより/行事などのお知らせ	16



●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <http://www.tnho.jp/>
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

糖尿病教育入院パスが出来ました。

対象は…

- 教育入院を受ける意志のある2型糖尿病患者さんで、ADLが自立し認知機能が保たれている患者さん

目標は…

- 患者さん（および家族）が糖尿病を正しく理解し治療を実践できること
- 低血糖、シックデイ、合併症発症時などの問題発生時の対処法を理解できること（セルフケア支援）

入院期間は8～11日間です。インスリン導入も可能です。まず一度、内分泌・代謝内科にご紹介ください。

- 入院中は、毎日行われる糖尿病教室に参加してもらい、糖尿病についての知識を得ることができます。食事、運動、薬について実践的に学びます。その間に血糖測定やインスリン分泌能検査、合併症・動脈硬化の評価を行います。それを元に治療方針を立てます。

かかりつけ医の先生と連携して糖尿病患者さんを支援します。



月刊誌
糖尿病ライフ
さかえ

退院後は、ご紹介いただいた、かかりつけ医の先生のところに通院し、治療の継続をお願いします。当院当科には半年～1年に1回受診いただき、合併症評価などを中心に診療し療養指導を行います。必要に応じて治療方針の見直しについてもご相談します。

2019年度「高松糖友会」 (高崎総合医療センター糖尿病患者会)

入会のご案内

糖尿病友の会は、糖尿病の方とその家族、医療スタッフで作られている会です。糖尿病について学び、皆で楽しく健康になるためのサークルです。

月刊誌「糖尿病ライフさかえ」を読んで、同じ病気の仲間と意見交換したり、定期勉強会で医師や栄養士、薬剤師、理学療法士などから最新の知識を学ぶことができます。

高松糖友会に参加して、
糖尿病と
うまく付き合う方法を
一緒に学びましょう!



日時 原則、偶数月の第2水曜日。
予定表をご覧ください。
午後1時からおよそ1時間

場所 高崎総合医療センター
研修センター

年会費 4,000円
(月刊「さかえ」購読料含む)

高松糖友会会長

2019年度 高松糖友会 定期勉強会と茶話会のお知らせ

糖尿病を持つ患者さん、家族の方のための勉強会とお茶会です。会員の方と勉強会に興味のある方は是非ご参加ください。



2019年

6月12日(水) 渋谷医師による知っておきたい病気の話
8月21日(水) 浅野理学療法士による知っておきたい運動の知識
10月9日(水) 加藤薬剤師による知っておきたい薬の知識
12月11日(水) 塩澤管理栄養士による知っておきたい食事の知識
& 昼食会

2020年

2月12日(水) 真下医師による知っておきたい糖尿病の知識

◎時間：13時よりおよそ1時間

◎場所：高崎総合医療センター
研修センター 視聴覚室



当院に通院中の皆さんの多数のご参加をお待ちしています。
(糖尿病患者会「高松糖友会」への入会随時可能です。)

入会のお申し込み、お問い合わせは、

地域医療支援・連携センターまたは内分泌・代謝内科医師、看護師まで

TEL 027-322-5901

随時、申し込みを受け付けています。

腸内環境と 栄養

栄養士 塩澤 由起子



去る3月20日水曜に市民健康医学講座を担当させて頂きました。

まだ寒さも厳しい中、多くの方々にお集まりいただき、ありがとうございました。

今回は「腸内環境と栄養」というテーマで、腸内環境を改善するための食事や栄養のことを中心に、生活習慣や運動習慣、みなさんの腸内環境のチェックについてお話をさせていただきました。

私たちの腸内環境を構成する、腸内細菌は100兆個程度、重さにして約1kg存在することが分かっています。(人間の細胞の数は約60兆個なので、それよりも多い!) 腸内細菌は3つに大別され、善玉菌と悪玉菌、そのどちらにも属さず優勢な方に味方をする日和見菌があり、それぞれが適正なバランスを保っている状態が良い腸内環境であると言えます。

腸内環境を改善するには、規則的な排便の毎日を送ることが不可欠であり、それには便を「作る」「育てる」「出す」という3つのステップを十二分に機能させつつ、腸の機能をアップさせていくことがポイントとなります。

*作る

• **プレバイオティクス** : 食物繊維やオリゴ糖などが代表的です。便のかさを増やしたり柔らかくする作用がある他、大腸で短鎖脂肪酸に変化することで腸内環境を改善します。

*育てる

• **プロバイオティクス** : ビフィズス菌、乳酸菌、納豆菌、麹菌などが代表的です。悪玉菌の増殖や活動を抑え、腸内に常在している善玉菌を増やす働きがあります。

プレバイオティクスとプロバイオティクスを合わせて摂取することをシンバイオティクスといい、単独の摂取と比較して、より腸内環境の改善に寄与する効果があるといわれています。

*出す

便秘になると悪玉菌が腸内にたまってしまい、腸

内フローラのバランスが崩れやすくなる原因となります。便秘を防ぐには、適度な運動と水分摂取、3食の規則正しい食生活が大切です。

水分 : 食事の重量の6割程度が水分と言われていますので、個人差はありますが、およそ1000~1500ml程度の飲水が適当です。減量のための食事制限や、加齢による口渴感の低下から水分が不足しやすいため、思い当たる方は意識的に水分摂取を行うと良いでしょう。

運動 : 普段からの運動不足に加え、車通勤などで歩く距離が少ないと、排便に必要なおなか回りの筋肉である腸腰筋や腹直筋は弱くなってしまい、腸から便を排出する力がなくなってしまうので、ご家庭で出来る体操の一例を紹介するので、ぜひ行って下さい。

5分で出来る! 便秘解消体操

膝上げ腹筋

- 椅子に浅く腰掛け、両足わきの座面に手をつけて少し背を丸めます。
- 膝を曲げたまま、両足をゆっくり上げて5秒キープします。
- 10回繰り返します。



腰ひねり

- いすの背もたれを持つようにしてゆっくりと体をひねります。
- 正面に戻し、同様に反対側へもひねります。
- 左右で1セットを10回・2セット行います。



腸内環境については、まだ研究段階でわかっていないことも多く、今後わたしたちにとって嬉しい効果が新たに報告される日も近いかもしれません。腸内環境を整えるに当たって、食事や運動の効果は即効性はなく、いずれも継続していくことで効果を発揮するものとなっています。今日お話をさせていただいたことを、これからの皆さんの今後の生活の一部に取り入れていただければ幸いです。

栄養だより

栄養食事指導外来と 栄養サポート外来について

栄養管理室・NSTでは地域医療連携および在宅医療の推進のために、内科および外科医師と連携し2つの外来を実施しております。

食事・栄養療法の必要な患者さんがいる場合には、状態に応じて下記外来のどちらかを選択し、ご紹介いただきますようお願いいたします。

どちらの外来を受診すべきかわからない時は、お申込みの前に地域医療支援・連携センターまたは栄養管理室へご相談ください。

【栄養食事指導外来】

- 火曜日 午後13時30分～15時30分
- 総合診療科・内科を受診
- 対象：生活習慣病(糖尿病、腎臓病 等)で食事療法が必要な方

血糖値と血圧が高いけど、食事をどうしたらよいのかが分からない。



血液検査の結果で気になる項目と食事の関係について聞いてみたい。

医師の診察後に管理栄養士が栄養食事指導を実施し、食生活改善のアドバイスをおこないます。

【栄養サポート外来】

- 木曜日 午前9時00分～12時00分
- 外科(消化器)を受診
- 対象：体重減少、食欲不振、栄養障害、摂食嚥下障害、手術後等の問題のある方

食道の手術後で体重が減り、体力も落ちている。栄養状態が心配。



食べ物を食べるときにむせる事が多くなった。食べる量が減ってきていて心配。

身体・筋力測定、体組成測定、採血結果等をもとに、多職種(医師・看護師・管理栄養士 等)で栄養評価・栄養診断をおこない、適切な栄養療法を実施します。

予約方法

地域医療支援・連携センター (医療機関専用ダイヤル：TEL 027-322-5835、FAX 027-322-5925) へお問い合わせのうえ、事前予約をお願いいたします。

栄養外来に関しては、当院ホームページ下部の「地域医療連携 栄養食事指導外来」からも事前予約申請書および診療情報提供書のダウンロードが可能です。



紹介元医療機関から当院受診までの流れ

紹介元医療機関
(かかりつけ医)



TEL又はFAX



地域医療支援・
連携センター事務

TEL/FAXを確認後に、当院からかかりつけ医へ連絡し来院希望日を確認

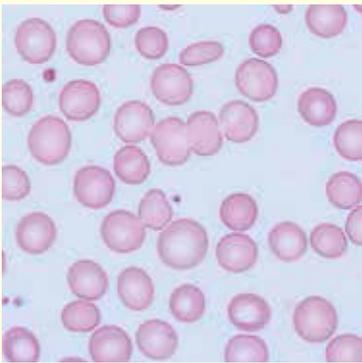
◆形

赤血球の形は、誰もが一度は目にしたことが有るのではないのでしょうか。円形で中央がくぼんだドーナツのような形をしています。この特徴的な形の利点は、表面積が広くなりガス交換を行うのに効率的なことと、柔軟性と形状変化に優れ細い毛細血管を通り抜ける際に役立っています。

◆機能

赤血球は細胞質と細胞膜からなり、細胞質の中にはヘモグロビンが含まれています。ヘモグロビンは、酸素を運ぶタンパク質でヘムとグロビンからできており、ヘムはさらに鉄とプロトポルフィリンからできています。

◆赤血球指数



大小不同赤血球 (鉄欠乏性貧血)

貧血は、血液が不足し酸素の運搬能力が低下した状態で、いくつかの種類があります。貧血の有無は赤血球数やヘモグロビン濃度から知ることができますが、その種類を分類する指標として赤血球指数があります。計算式から求められ赤血球数、ヘマトクリット値 (血液中の赤血球が占める体積の割合)、ヘモグロビン値から算出します。MCV (平均赤血球容積: 赤血球1個の平均の大きさ)、MCH (平均赤血球ヘモグロビン量: 赤血球1個の平均のヘモグロビン量)、MCHC (平均赤血球ヘモグロビン濃度: 赤血球に含まれるヘモグロビンの割合) の3項目からなります。この項目から貧血を正球性正色素性貧血、小球性低色素性貧血、大球性高~正色素性貧血のタイプに分けます。

◆臨床的意義: 貧血の分類

赤血球指数による貧血の分類	貧血の種類	備考
正球性正色素性貧血 (MCV=81 ~ 100 MCHC=31 ~ 35)	再生不良性貧血、腎性貧血、溶血性貧血、急性出血、白血病	1個1個の赤血球の大きさやヘモグロビン量は正常だが、赤血球数が少ないために貧血
小球性低色素性貧血 (MCV ≤ 80 MCHC ≤ 30)	鉄欠乏性貧血、鉄芽球性貧血、サラセミア	赤血球数は基準範囲にあっても、1個1個の赤血球が小さく、ヘモグロビンが少ないために貧血
大球性高~正色素性貧血 (MCV ≥ 101 MCHC=31 ~ 35)	ビタミンB12欠乏などによる巨赤芽球性貧血、肝障害、骨髄異形成症候群	1個1個の赤血球は大きくヘモグロビン量も正常~高値だが、赤血球数が少ないために貧血



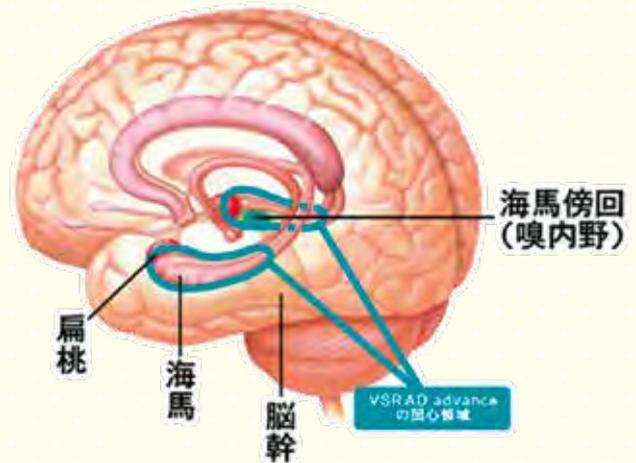
認知症診断に 当院MRIをご活用ください

全脳MRI+MRA+VSRAD

当院へご紹介いただくことで、薬剤等を使用することなく、MRIで脳萎縮の視覚評価が行えます。

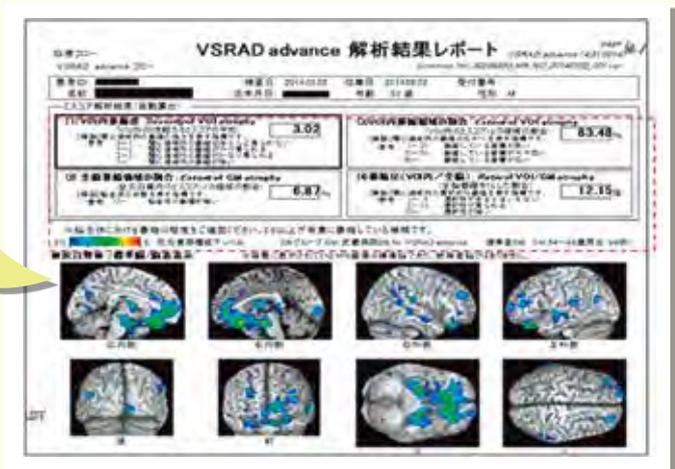
提供する画像

- T1WI, T2WI, T2*WI, FLAIR, DWI
- MRA, ASL
- VSRAD



VSRADは海馬傍回の萎縮度を正常脳と比較し、数値で評価します。

T1WI 3D撮像法です、3断面画像再構成を行うことで、早期アルツハイマー型認知症の診断以外にも脳の各部位における萎縮の評価を行えます。また、MRAで血管評価、ASLで血流評価、その他疾患の評価も併せて可能です。ぜひご活用ください。



当院、地域医療連携室より、放射線科画像診断科でご予約下さい。

月・火・木・金の各曜日に、ご予約可能な時間を設けております。

地域医療支援・連携センター

医療機関専用TEL 027-322-5835 医療機関専用FAX 027-322-5925

- 当日は診察・準備などで約1時間30分ほどお時間を頂きます。そのうちMRI撮像時間は約25分です。
- MRI検査にかかる費用は3割負担で約6,500円となります。
- 画像と読影結果は後日郵送いたします。



がん相談支援センター

病気や療養、生活に対する不安など お気軽にご相談ください。

- 今後の検査や治療のことが不安
 - 治療の副作用が心配
 - 療養生活に関する情報がほしい
 - セカンドオピニオンについて相談したい
 - 緩和ケアに関する情報を知りたい
 - 仕事はどうしたら良いか？
 - 在宅医療や介護保険など住宅ケアに関することを相談したい
 - 禁煙に関すること
- などなど

相談窓口 1階 6番入退院センター隣

電話相談 027-322-5901 (代) + 「がん相談希望」とお伝え下さい。

相談受付時間 平日 8時30分～17時15分

がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとさろん・たがさき

病気のことや日々の生活のことなどお茶を飲みながらお話しませんか？

当センターでは、がんさを月1回開催しております。
がん患者さんやそのご家族に、ご自由に参加して頂いております。
事前の申し込みは必要ありません。



2階ほっとさろん案内図

と き：毎月 第四金曜日
13時30分～15時30分

ところ：高崎総合医療センター2階 市役所側
売店右奥 検査科横

当日は、高崎総合医療センター相談支援センターの
看護師やソーシャルワーカーも参加いたします。



- 当院へ駐車の場合、駐車料金がかかりますのでご了承ください。
(2時間まで無料 以降1時間100円)
さろんについてのお問い合わせは、高崎総合医療センター**相談窓口**
までお願い致します。
電話：027-322-5901 (病院代表)

がん地域連携クリニカルパス

(がん地域連携パス)

をご存知ですか？

がん地域連携クリニカルパス(がん地域連携パス)とは、患者さんの病気にあわせた治療に関する連携計画書のことです。当センターのようながん診療連携拠点病院の専門医と地域の連携医療機関のかかりつけ医の2人が主治医になり、がん地域連携パスを用いて、連携しながらあなたの診療を行います。

がん診療連携拠点病院(専門医)

高崎総合医療センター



- 手術
 - 化学療法
 - 放射線治療
 - CT/MRI/内視鏡 など
- 緊急時の対応

※ 節目に受診

がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)



地域の連携医療機関

かかりつけ医



- 日常生活の管理
- 定期的な受診
- 採血 ●投薬
- 異常の早期発見

がん地域連携パスで
つながっています



がん地域連携パス手帳
(患者さんのカルテ)

薬局



群馬県内のがん診療連携拠点病院では、地域の連携医療機関と協力して「がん地域連携パス」を活用し患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を提供します。

医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



はじめまして。平成31年4月より小児科医師として勤務しております八木龍介と申します。群馬県伊勢崎市出身で、弘前大学卒業後、当院で初期臨床研修を行いました。青森県では、聞き慣れない津軽弁や美味しい海の幸、蜜がいっぱい甘いりんご、冬場の雪掻きなど様々刺激的な経験ができました。群馬大学小児科に入局していますが、3年目は当院でそのまま小児科医として残りました。子どものことが好きで、子どもたちの未来のために働きたいと思い、小児科を選びました。医師としてまだまだ未熟であり、慣れない点も多く、周囲にご迷惑をおかけすることもあります。先輩医師や医療スタッフの方々に支えられ、毎日充実した日々を送っています。

地域の先生方と協力させていただきながら、一人でも多く子どもたちを元気に、笑顔にできるよう精一杯努力してまいります。



●小児科

やぎ りゅうすけ
八木 龍介

はじめまして、湯浅直紀と申します。群馬県出身で、浜松医科大学での大学生活を終え再び群馬へ帰ってきました。研修を通して心臓についてもっと学びたいと考え、心臓血管内科を選びました。虚血、エコー、画など様々な分野があり、とても興味深い科です。患者様それぞれ抱えている病気や背景等は違いますが、一人一人に寄り添った治療ができればと思います。

趣味はテニスで、時間がある時は所属しているチームの練習にも参加しています。基本的にはアウトドア派ではありますが、読書したり昼寝したりするのも同じくらい好きです。これからどうぞよろしくお願い致します。



●心臓血管内科

ゆあさ なおき
湯浅 直紀

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

森内科クリニック

院長あいさつ

当院は先代院長が昭和49年に開業して以来、かかりつけ医として地域医療に貢献してまいりました。平成28年から現院長が地域の皆様の健康を守るために日々診療に努めております。お気軽にご相談ください。



森内科クリニック
院長
森 貴紀



診療科・病院案内

内科・呼吸器内科・循環器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	● 13:00迄	△
午後(3:00~6:00)	●	●	●	△	●	△	△

群馬県高崎市楽間町31-3 TEL:027-343-7568

呼吸器内科を専門としておりますが、生活習慣病全般にわたり予防・診断・治療および生活指導などの御相談に応じております。高崎市特定健康診査、健康診断等およびインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン等も実施しております。
○日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
○日本呼吸器学会 専門医・指導医

はるな生活 協同組合 通町診療所

院長あいさつ

通町診療所では、1985年より、移転した高崎中央病院の後をついで診療を開始しました。大きく変遷する市街地で、皆様に支えられ、地域医療に取り組んできました。歴史ある診療所を、家庭医療を提供する施設として、さらに充実させてまいります。



通町診療所
院長
平 洋



診療科・病院案内

内科・小児科・在宅医療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	● 第2を除く	△
午後(3:00~6:00)	●	●	●	●	●	△	△
訪問診療	●	△	●	●	●	△	△
予防接種	●	●	●	●	●	●	△

*在宅医療に力を入れております。 *予防接種は予約制で、適宜対応しております。

群馬県高崎市通町143-2 TEL:027-322-6534

家庭医は、一言でいえば『あなたと家族の専門医』です。赤ちゃんからお年寄りまで、健康なときも、病気のときも、お困りのことがあれば何でも気軽にご相談下さい。併設の「高齢者あんしんセンター」・「通所リハビリ」・「居宅介護支援事業所」からなる複合的な機能を活かし、医療・介護・健康・福祉の「よろず相談窓口」として、対応致します。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科
乳腺、内分泌外科・脳神経外科・呼吸器外科・産婦人科・泌尿器科・眼科
放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、「セカンドオピニオン係」とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,400円(消費税込み)

30分以上 10,800円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	茂木 充	呼吸器全般	金
消化器内科	工藤 智洋	食道、胃、大腸	木
	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	小川 哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	塚越 浩志	大腸	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
脳神経外科	栗原 秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹口 修男	脳血管障害	木
呼吸器外科	菅野 雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	北本 佳住	悪性疾患の放射線治療	金
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	合田 史 真下 大和	合田 史	佐藤 正通 合田 史 <small>午後：予約専門外来</small> 飯塚 堯	佐藤 正通 真下 大和
栄養外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	(小澤 厚志)	武藤 壮平 (道又 敏夫)	渋沢 信行 <small>午後</small>	武藤 壮平
神経内科	金井 光康	古田 夏海	藤田 智	(山内 菜由莉)	
呼吸器内科	茂木 充 <small>午前</small> 佐藤 麻里	竹村 仁男 大島 一真 <small>午前</small>	大島 一真 増淵 裕朗 <small>午前</small>	茂木 充 竹村 仁男	佐藤 麻里 大貫 祐史 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 <small>午後</small> 綿貫 雄太	工藤 智洋 星野 崇 鈴木 悠平 綿貫 雄太	安岡 秀敏 増田 智之 石原 弘 (蘇原 直人) <small>午後</small> <small>午前</small>	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平	工藤 智洋 星野 崇 相原 幸祐 (岡野 祐大) <small>午後</small>
内視鏡検査	星野 / 増田	安岡 / 増田	工藤 / 綿貫	工藤 / 上原	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small> 村田 智行	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) <small>再来</small>	広井 知歳 佐野 幸恵 静 毅人 <small>午後</small> 太田 昌樹 <small>不整脈外来午後</small>	福田 延昭 (金澤 紀雄) <small>再来</small> 湯浅 直紀	小林 紘生 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small> 太田 昌樹 <small>ペースメーカー外来、第2・4週午後</small> 柴田 悟
新患外来(午前)	高橋 伸弥	福田 延昭	村田 智行	佐野 幸恵	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗	井田 逸朗 村山 侑里
小児科	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 徳永 真理 <small>午後</small> 内田 亨 八木 龍介 <small>午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 倉田 加奈子 <small>午前</small> 八木 龍介 (神尾 綾乃) <small>第2・4週午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 倉田 加奈子 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> <乳児健診> <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small> 徳永 真理 <small>午後</small> 小笠原 聡	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 徳永 真理 <small>午前</small> 佐藤 幸一郎 (西澤 拓哉) <small>第2、第4週午後</small>
小児外科		(西明・高澤 慎也) <small>第2・4週午後</small>			
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳	小川 哲史 <手術日>	榎田 泰明 田中 寛	小川 哲史 平井 圭太郎 小川 哲史 <small>小川祐介(栄養士)</small>	塚越 浩志 星野 万里江
栄養サポート外来				小川 哲史 <small>小川祐介(栄養士)</small>	
ストーマ外来			第2・4週日午後：予約	第1・3・5週日午後：予約	
泌尿器科	井上 雅晴	栗原 聰太	(青木 雅典)	井上 雅晴	栗原 聰太

1 外来診療 受付時間

8:30～11:00迄 (予約の場合は最終予約時まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない場合、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通じた
事前予約にご協力下さい。

() の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
緩和医療科	田中俊行	田中俊行	田中俊行		田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生	鯉淵幸生	鯉淵幸生	交代制／(中澤祐子) 午前、予約 午後、予約	鯉淵幸生 第2・4週目
	荻野美里	高他大輔	荻野美里 高他大輔 再診予約		高他大輔 荻野美里 第1・3・5週目
心臓血管外科	<手術日>		高橋 徹	小谷野 哲也	茂原 淳
呼吸器外科	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行 午後	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行	<手術日>
整形外科	新井 厚	大澤敏久	荒 毅	新井 厚	大澤敏久
	荒 毅	(柳澤信明) 午後	信太晃祐	<手術日>	齋藤健一
	信太晃祐	齋藤健一 一ノ瀬 剛	猪俣和弘		一ノ瀬 剛
形成外科	(古賀康史) 午後				(田村健・濱田泰志) 交代制 午後
脳神経外科	島内寛也	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴)			(須藤麻梨子)
産婦人科	伊藤郁朗	伊藤郁朗	田村美樹	満下淳地	伊藤郁朗 第2週は紹介・予約
	満下淳地	青木 宏	(西村俊夫) <産後検診>	(金井真理)	青木 宏
	永井あや	田村美樹		(森田晶人)	永井あや
眼科	土屋 明 紹介・予約	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌		<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
放射線治療科	北本佳住	北本佳住		北本佳住	北本佳住
	大高 建	大高 建		大高 建	大高 建
歯科口腔外科	柴野正康	<手術日>	前山恵里	薬師寺 孝	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1・3・5週のみ	稲川元明	稲川元明	稲川元明	稲川元明
	木村将典	倉持真理子	木村将典	木村将典	倉持真理子
	倉持真理子	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2・4週のみ	倉持真理子		

(令和元年5月1日現在)

3

予約について

(医療機関からの
紹介患者事前予約)

消化器内科、産婦人科、形成外科、眼形成眼窩外科、整形外科、神経内科、放射線治療科、歯科口腔外科、歯科(歯科麻酔)、呼吸器内科、耳鼻いんこう科は紹介事前予約制となります

- 分娩希望についてはこの限りではありません。
- 精神科も完全予約制となりますが、通常の予約方法と異なります。地域医療支援・連携センターにお尋ねください。

FAXの予約対応を平日は18:30まで行っています

- FAXは24時間受け付けています。

土曜日も予約受付を行っています(8:30-17:15)

4

連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター
医療機関専用ダイヤル:027-322-5835 FAX:027-322-5925

失言の意味

日本の大臣や有力政治家には、「失言」をくり返す習慣があります。つい最近では、いわゆる「忬度発言」で国交省副大臣が辞任し、「東日本大震災の復興よりも、自民党の議員が大事」という「失言」で、五輪担当大臣が辞任、2017年には復興担当大臣が、「東日本大震災は被害が大きかったのは、まだ東北で、あっちの方で良かった」という、とんでもない「失言」で大臣を辞任しました。しかしこれは「失言」なのでしょう。「失言」の意味は、言っではいけないことを発言すること、と辞書にはのっています。この政治家達は思っていないことを、つい「失言」として発してしまったのか、自分で考えていることを「失言」として発したのかは不明ですが、どちらにしても、あまりの「無知」とひどさにあきれるばかりです。こういう人達を選挙で当選させた地元の人達はどう思っているのでしょうか。一般にこの種の「失言」は、その場の思いつきですから、一貫性を持ちません。

しかし、重要なのは違う種類の「失言」です。

15年戦争について、あれは「侵略ではなくて進出だ」、「大東亜戦争の目的は正当」、「南京大虐殺はつくり話だ」、「朝鮮半島を併合して日本は朝鮮半島に良いことをした」などというもので、あきらかに一貫性を示します。

この種の「失言」は明らかに、「失言」を歓迎する勢力があり、この方向に向かって「失言」をくり返しています。

戦後の民主主義と人権尊重の原則は、戦勝国自身のつくり出した冷戦の枠組みのなかで主張されました。冷戦からの解放が、冷戦の戦略に従属させられた原則からの解放に向い、その結果、後ろ向きな歴史の見直しが生じました。

「南京大虐殺はなかった」ということから、日本国の未来は開けません。未来へ向かって開けるのは、「南京大虐殺をくり返さない」ということです。

80年前の日本軍の行動についての「失言」のくり返しに、意味があるのは、歓迎する聞き手があるからであり、かつて人種差別と人権侵害、民主主義の原則の破壊を許した国民の「知的怠惰と無関心」が、この国において遠い昔の話ではないからです。



病院長 石原 弘

INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽にご参加ください



●第218回 市民健康医学講座 『間違いだらけの補聴器(ホチョーキ)選び』

日時：2019年6月3日(月) 17時30分～
講師：耳鼻咽喉科部長 高橋 克昌
場所：当センター2階 大会議室
対象：一般の方 医療従事者

●地域連携がんセンターボード 『がんのPrecision medicine』

日時：2019年6月20日(木)
演者：臨床研究部長 鯉淵 幸生 他
場所：当センター2階 大会議室
対象：医療従事者(申し込み不要)
※日本医師会生涯教育：1.5単位予定

●地域連携症例検討会 『肝・胆・膵疾患の診断と治療の連携』

日時：2019年7月10日(水)
演者：消化器内科部長 長沼 篤
消化器外科部長 坂元 一郎 ほか
場所：当センター2階 大会議室
対象：医師 医療従事者(申し込み必要)
※日本医師会生涯教育：1.5単位予定

●CPC(臨床病理示説会)

日時：2019年6月26日(水) 17時45分～
場所：当センター2階 大会議室
対象：医師

編集室より

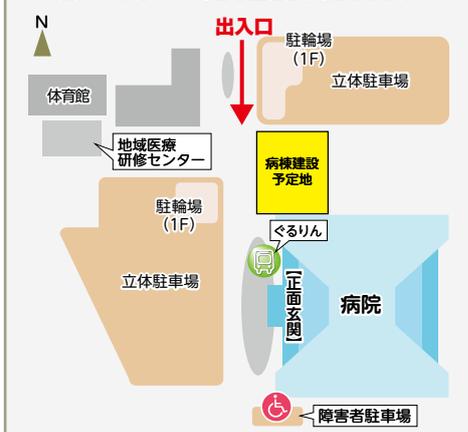
登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835**

(医療機関専用ダイヤル)

高崎総合医療センター案内図

出入りは日中夜間とも正面玄関となります



独立行政法人・国立病院機構

高崎総合医療センター